

みずほCustomer Desk Report 2019/10/30号(As of 2019/10/29)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	109.02
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	108.97	1.1098	120.93	1.2858	0.6840
SYD-NY High	109.07	1.1118	121.05	1.2905	0.6871
SYD-NY Low	108.75	1.1074	120.58	1.2807	0.6836
NY 5:00 PM	108.89	1.1112	120.95	1.2876	0.6865
NY DOW	27,071.42	▲ 19.30	日本2年債	-0.21	1.00bp
NASDAQ	8,276.85	▲ 49.14	日本10年債	-0.11	3.00bp
S&P	3,036.89	▲ 2.53	米国2年債	1.6405	▲ 0.60bp
日経平均	22,974.13	106.86	米国5年債	1.6578	▲ 0.65bp
TOPIX	1,662.68	14.25	米国10年債	1.8358	▲ 0.88bp
シカゴ日経先物	22,935.00	▲ 40	独10年債	-0.3545	▲ 2.00bp
ロンドンFT	7,306.26	▲ 25.02	英10年債	0.7080	▲ 1.00bp
DAX	12,939.62	▲ 2.09	豪10年債	1.1580	5.90bp
ハンセン指数	26,786.76	▲ 104.50	USDJPY 1M Vol	5.30	0.08%
上海総合	2,954.18	▲ 25.87	USDJPY 3M Vol	5.63	▲ 0.02%
NY金	1,490.70	▲ 5.10	USDJPY 6M Vol	6.14	0.01%
WTI	55.54	▲ 0.27	USDJPY 1M 25RR	-0.80	Yen Call Over
CRB指数	178.38	0.09	EURJPY 3M Vol	6.28	0.15%
ドルインデックス	97.69	▲ 0.07	EURJPY 6M Vol	6.68	0.06%

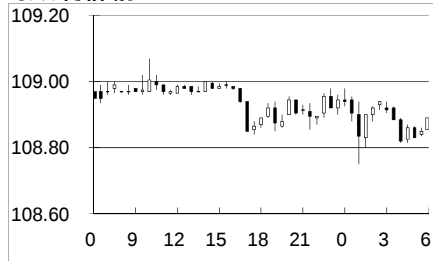
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月29日	23:00	米 コンファレンスボード消費者信頼感	10月 125.9	128.0
	23:00	米 中古住宅販売契約(前月比)	9月 1.5%	0.9%

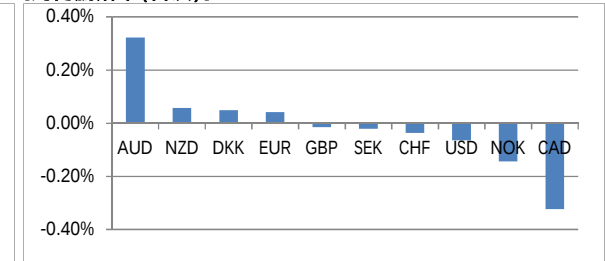
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月30日	19:00	欧 消費者信頼感・確報	10月 -7.6	-7.6
	21:15	米 ADP雇用統計	10月 110k	135k
	21:30	米 GDP(前期比年率)・速報	3Q 1.6%	2.0%
	21:30	米 個人消費・速報	3Q 2.6%	4.6%
	21:30	米 コアPCE(前期比)・速報	3Q 2.2%	1.9%
	22:00	独 CPI(前月比/前年比)・速報	10月 0.0%/1.0%	0.0%/1.2%
10月31日	03:00	米 FOMC 政策金利	- 1.75%-1.50%	2.00%-1.75%
	03:30	米パウエルFRB議長 記者会見	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケットインプレッション】 FOMCを控えて

明日の午前3:00に声明文が公表されるFOMCであるが、16日に提出された米地区連銀経済報告では、8月23日から10月7日までの景気動向について「slight to modest」に拡大していると表現。「modest」なペースで拡大していると記述していた前回に比べ総括判断が下方修正されており、ブラックアウト期間に入る直前の18日にクラリダFRB副議長が次回会合での利下げを暗示する常套句「景気拡大維持のため適切に行動する」との見解を敢えて示した事も相俟って、米政策金利先物市場では利下げ実施の可能性を9割以上の確率で織り込んでいる。可能性は低いものの、追加利下げが見送られた場合も、直後の反応ではドル高となるであろうが、失望しての米国株価の下落に連れ、ドル安方向に押し戻される動きが想定され、ドル円相場はいずれにせよ上値が重い展開を見込んでいる。但し、大方の市場関係者が既に織り込んでしまった状態で米利下げが実施されても、大きくドル安が進まないことは、先の7月・9月と直近2回の利下げで確認されており、米国経済に明らかな失速の予兆が現れていない状況下、景気拡大維持のための利下げが実施されれば、米国の主要株価指数はFRBのハト派姿勢を好感して上昇する可能性が高く、日米金利差の縮小によるドル安圧力がある程度は相殺され、落ち着いた展開は結局のところ声明発表の水準から大きく変わらない水準に留まる可能性もある。今後は、FOMC声明の公表後のパウエルFRB議長の会見内容なども踏まえ、市場が新たに形成する米金融政策運営のコンセンサスが固まるまで、米国の株価や長期金利の動きを眺めてのボックス・レンジが続くそうか。英国の合意なきEU離脱リスクが一旦後退した中、米中両国が関税引き上げの応酬を回避する方向で話し合いが続けられている状況でもあり、足許の市場では楽観論も台頭してきているようであるが、こうした楽観論が台頭してきた時ほど下値への警戒も怠らないようにしておきたい。(関)

東京	東京時間のドル円は108.97レベルでオープン。前日にトランプ米大統領が米中協議に関して前向きな発言をしたことを背景に午前中は底堅い推移。公示にかけてドル買いが優勢となり109.07まで上昇したが、その後は失速。109円手前で狭いレンジで推移し、108.99レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、108.99レベルでオープン。新規材料を欠く中108.84-98の狭い範囲で推移し108.91レベルでNYに渡った。ボンドは、1.2854レベルでオープン。前日、早期選挙を求める首相勧告が否決され不透明感から朝方は重い立ち上がりで1.2807まで下落。そのような中、最大野党労働党が早期選挙を支持するとの報道でボンドに買戻しが入り1.2874まで買われる。結局1.2855レベルでNYに渡った。(ロンドン・ブルリー 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	海外市場のドル円は、米中貿易交渉の進展期待を背景に109.00付近で底堅く推移。一時109.07まで上昇する場面もあったが、109円台での売り意欲も見られる中、108.84まで押し戻され、108.91レベルでNYオープン。朝方は108.90付近で小動き。10時発表の米10月CB消費者信頼感指数が予想を下回る一方、米9月中古住宅販売契約件数が予想を上回り、強弱入り混じった結果にドル円の反応も限定的だった。午後にかけては「米中、APECで第1段階合意に調印しない可能性もある」との報道に108.75まで急落するが、売りは長続きせず、下に往って来いとなった。その後、タリ平均が円安圏に沈む動きを横目に上値重い展開となる。終盤は翌日のFOMCを控え、様子見ムードが広まる中、108.80で方向感の無い推移となり、108.89レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは、特段の手掛かり材料が見当たらない中、ユーロ売りが先行し1.1074までじりじりと下落。早朝にかけて「英労働党が早期総選挙実施を支持する」とのヘッドラインに上昇するボンドに連れ高となり、1.1091まで上昇し、1.1082レベルでNYオープン。朝方は海外時間の流れを引き継ぎ、ユーロの買い戻しが進み、1.1116を回復。一時1.1118まで上昇するが、100日移動平均線などのテクニカルなレベルを控えるこの水準での戻り売りを受けて、小幅下落。午後は、翌日にFOMCを控える中、1.1110付近で小動きとなり、1.1112レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 関・玉井 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

	竹内	加藤	関	光石	岡本	上野	尾身	原田	玉井	ブル	ベア
Today	ベア	ベア	ベア	ブル	ベア	ブル	ベア	ブル	ブル	4	5
Week	ベア	ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ブル	ブル	ベア	5	4